

衛生委員会 議事録

日時	2019年6月27日						18:30	～	19:00
場所	とうざい株式会社 2階 研修室								
参加者	○	曲道英治	○	境力	○	小笠原さやか		高木伸也	
	○	境恭平		金山国雄		神山敏則		中野規	
	○	小関聡美		吉田美加子	○	八重沢秀美		佐々木江利香	
	○	矢野美沙子							

※氏名の前の「○」は参加、「空欄」は不参加

議題	審議内容
1. 各事業所からの安全衛生に関する報告	各事業所、夏風邪や疲労からの体調不良の人が増えているようです 身体をしっかりと休め、無理せず悪化する前に病院へ行くようにしましょう
2. 6月のテーマ 「火傷や怪我の防止・応急処置について」	1. 各事業所で、火傷や怪我をしそうな作業・場所は？ *アトミックス…るつぼを使う作業、研磨機を使う作業 等 るつぼは落としてしまい、慌てて拾った際に火傷をする・研磨機では、気づかないうちに自分の指まで削ってしまう等の危険がある *帝商…高速カッターを使用した作業、鉄くずの掃除、ダクト内の清掃 等 カッターは完全に止まらないうちに触れることで怪我をする危険、 鉄くずやダクト内は冷めるまでは非常に熱いので火傷の危険性がある *城下…300度近い熱を持った半田ごてを使用した作業があるので火傷の危険がある *ハイテック…アルミを溶かして部品を作るので、熱さがある。火傷の危険 2. それらを予防するために実施していること・出来ること *新しく来た人へ、前もって怪我の危険があることを伝えている *作業前にミーティング（TBM）をして、その日の作業のポイントを話し合っている *週に1回のKYT（危険余地訓練）をしている *作業前に安全項目指針を読んだり、ミーティングを行っている *どんな時でも作業所では走らないこと *どんなときでも慌てない、焦らないで作業をすること 3. 実際に火傷をしてしまった際の応急処置方法 ◎痛みが取れるまで冷やす（15分～30分が目安） ◎衣類は無理に脱がさずにそのままの状態冷やす ◎水ぶくれは潰さずに、清潔な布で覆い、その上から冷やす ◎冷やした後、患部をガーゼなどで優しく覆い、そのまま医療機関を受診する！ ※その時、軟膏を塗ったり、強すぎる流水をあてたりしてはいけません！ 4. 医療機関の受診のポイント ◎赤くはれて水ぶくれを起し強い痛みがあるときや、皮膚が白く乾燥して毛が抜けたり痛みを感じないとき ◎低温火傷や電気火傷、化学火傷、気道火傷をしたとき 迷ったときには、必ず病院へ行くようにしましょう！！ また、救急箱の用意、職場で救急箱のある場所の確認なども大切です
3. 最後に	今回は7月25日18：30～19：00の予定です。メンバーが変わります。 1年間ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

とうざい株式会社

添付資料：6月衛生委員会資料

承認	審査	担当
曲道	小笠原	恭平

2019年6月28日 作成